

「伝染性膿痂疹（とびひ）」 が、発生しています。

● 症状・特徴 疑わしい場合は早めに受診を！

湿しんや虫さされの後をかきこわした部分に細菌が入り感染をおこす

- ・水ほうやかさぶたができる
- ・かゆみが強く、かきこわした手で他の部位に触れると周囲に広がっていく



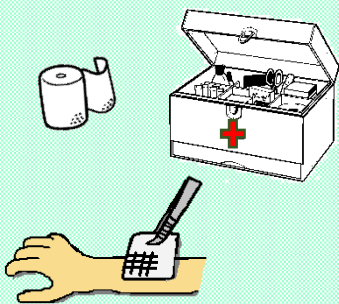
● もし、伝染性膿痂疹（とびひ）と診断されたら…

登所（園）は症状によります。

【登所（園）のめやす】

皮しんが乾燥しているか、ジクジクしているところをガーゼなどでおおえる程度のもの

こども家庭庁：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）参照



登所（園）する時は、とびひの部分をガーゼなどでおおってください。ガーゼでおおえない、症状が広がっているなどの場合は、「集団生活が可能かどうか」を、かかりつけ医にご相談ください。

※ 症状により意見書をいただく場合があります。

【潜 伏 期 間】 2～10日

● ご家庭で気をつけること

- ・塗り薬や飲み薬（抗菌薬）などで治します。
- ・手洗いを励行しましょう。
- ・水ほうをかきこわすと感染が広がるので、爪を短くしましょう。
- ・とびひになっている部分も含めて、皮膚を清潔にしましょう。
- ・治療開始後もとびひが広がり、治りにくい時は再度受診しましょう。

